平成26年度町長施政方針

本議会に提案しております平成26年度一般会計及び特別会計の各予算をはじめ、関係諸議案の審議をお願いするに当たり、私の所信の一端と予算編成の基本的事項を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解を得たいと存じます。

昨年8月に、広島県から広島市東部地区連続立体交差事業の見直し案が示されましたが、海田町内については、これまでの計画が大幅に見直されており、永年、期待しながら、進めてきた、本町のまちづくりを根本から覆すようなもので、この見直し案は、到底、受け入れられるものではないと考えております。

平成26年度においても、これまでのまちづくりを続けるべく、第4次海田町総合計画に掲げる都市像「ひと輝く・四季彩のまちかいた」の実現に向け、総合計画の実施計画を着実に実施し、引き続き、住民福祉の向上と、町の発展に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、本町を取り巻く諸情勢について申し上げます。

まず、経済情勢でございますが、輸出の持ち直しや経済対策の効果などを背景に、景気の回復基調が続くことが期待されていま

す。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見込まれるとともに、海外の景気の状態によっては、国内の景気を押し下げることとなり、先行き不透明な状況となっています。

次に、平成26年度の地方財政の状況でございますが、地方に交付される地方交付税の総額については、前年度を下回るものの、地方消費税率の引き上げや、地方税の増収等により、一般財源総額については、前年度の水準と実質的に同水準が確保されています。

続いて、本町の財政状況についてでございます。

歳入の根幹である町税については、町たばこ税の減が見込まれるものの、個人町民税、法人町民税ともに増が見込まれ、町税全体で増を見込むとともに、地方消費税交付金の増を見込んでおりますが、普通交付税については、大幅な減を見込み、臨時財政対策債についても減としております。

一方、歳出においては、退職者の状況から、人件費の減を見込んでおりますが、社会保障関係費の増や、老朽化した公共施設の補修に予算を措置する必要性が生じております。

こうした中で、予算の編成に当たり事務事業評価を反映するとともに、一般行政経費のゼロシーリングの実施や、事務事業の見直しを行いました。また、国の経済対策を活用し、耐震補強など

の大規模事業を平成25年度予算に前倒しして計上し、より有利な条件で事業を行うことにより、特定財源の確保に努め、限られた財源の中で、第4次海田町総合計画に掲げられた各種施策の推進に財源を重点的に配分いたしました。

なお、歳入歳出の見込みで、財源不足を生じたので、財政調整基金の取り崩しにより、不足分を補い、予算を編成いたしました。

次に、行財政運営につきましては、これまでの財政健全化の取り組みにより、人件費の抑制や、町債残高の縮減など、一定の成果をあげてきております。引き続き、身の丈にあった簡素で効率的な行財政運営に努めてまいります。

それでは、主な事業につきまして、総合計画に示された施策の方向に沿ってご説明いたします。

1 子どもがいきいきと育つまちをつくろう

第1点目は、「子どもがいきいきと育つまちをつくろう」でございます。

子育てしやすい環境の整備

「子育てしやすい環境の整備」につきましては、すべての子育て家庭において、子どもを安心して産み育てることができるよう、子育て支援サービスの充実に向けた取り組みを行ってまいります。

平成25年度に引き続き、子ども・子育て支援法に基づく「海田町子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた子ども・子育て会議を開催し、子育て家庭や地域のニーズが反映されるよう適切に対応してまいります。

家庭における子育ての支援につきましては、引き続き、ひまわりプラザ、海田児童館、町民センターの3か所の子育て支援センターを中心に子育て相談・親子教室、食育講座などを行い、親子で気軽に集うことができる場を提供してまいります。

また、次代を担う子どもたちの健全な育成を願い、親子でふれ

あい、家族の絆を深めるためのイベント「ワッショイ！かいた」の開催や3人乗り自転車の貸し出し、ヘルパー派遣事業を行ってまいります。

保育サービスの充実につきましては、老朽化している畝保育所、幸保育所、西浜保育所の再整備を進めるため、基本計画を策定するとともに、畝保育所については、応急措置として改修工事を実施し、安全対策を行ってまいります。

また、多様な教育・保育施設や子育て支援事業等を、保護者や妊娠している方が円滑に利用できるよう、新たに保育コーディネーターを配置し、情報提供や相談、助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行ってまいります。

その他、保育所での延長保育、一時保育、休日保育を行い、保育ニーズに対応するとともに、保育所での未就園児に対する園庭開放や保育所入所園児の感染症情報の集約により、早期の予防対策と感染拡大防止を行ってまいります。

地域住民の協力による子育て支援につきましては、会員同士により子育て援助を行うファミリーサポートセンターの実施や、シルバー人材センターの託児事業の支援を行ってまいります。

次に、子育て世帯の経済的な負担の軽減につきましては、就学前までの医療費の助成及び中学生までの入院医療費助成、未熟児

の入院に係る医療費の支給を実施してまいります。

その他，子どもを対象とした各種手当の支給や，2人以上同時に保育所等に入所した場合の保育料の軽減などを引き続き行ってまいります。

子どもが健やかに育つ環境の整備

「子どもが健やかに育つ環境の整備」につきましては，子どもたちが，自主性・自立性をはぐくみながら，健やかに育っていけるよう，子どもの遊び場や居場所づくりに取り組んでまいります。

児童クラブにつきましては，下校後に保護者などが家庭にいない小学校低学年の児童を対象に基本的な生活習慣，道徳性，社会性の育成に努め，児童の健全育成を図ってまいります。

放課後子ども教室につきましては，放課後や週末などの健やかな体験活動や地域との交流活動の場を提供するとともに，地域の居場所として多くの児童が参加できるよう，児童館や児童クラブと連携してまいります。

特に配慮が必要な子どもや家庭につきましては，子育て支援ネットワークを活用し，児童虐待の早期発見や虐待事案が生じた場合の児童の安全確認などを行ってまいります。

発達障がいなど障がいを持つ児童に対しましても、それぞれの障がいの状況に応じて適切に対応してまいります。

ひとり親家庭に対しましては、母子自立支援員による相談や指導を行うとともに、経済的な支援を行ってまいります。

学校教育の充実

「学校教育の充実」につきましては、「夢を持ち、夢を語ることのできる」児童生徒の育成を目標に掲げ、小学校と中学校の教職員が9年間を見通して児童生徒を育てるという視点に立って、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むとともに、地域に開かれた信頼と特色のある学校づくりや教育環境の整備・充実に取り組んでまいります。

「確かな学力」の育成につきましては、県の事業で、海田中学校区が指定を受けていた学力向上総合対策事業を海田西中学校区にも拡充いたします。また新たに、各校へ教育指導員を配置して、学力の確実な定着を目指すとともに、グローバル化が加速する現状を踏まえ、英語教育の充実を図ってまいります。

「豊かな心」の育成につきましては、「心の元気を育てる地域支援事業」を推進するとともに、道徳の時間を要とし、道徳性を

育む体験活動等を充実させてまいります。また、いじめや、暴力行為等に対応するため、小中一貫した生徒指導体制を一層確立してまいります。

「健やかな体」の育成につきましては、体を動かす機会を増やし、児童生徒の体力づくりや食育・健康教育の充実を図ってまいります。

次に、子どもの安全・安心の確保につきましては、緊急情報等メール配信サービスを活用し、情報発信をするとともに、学校安全ボランティア活動を引き続き推進してまいります。

教育環境の整備につきましては、全校にエアコンを設置するとともに、海田小学校の特別教室棟、海田西小学校の本館と特別教室棟の耐震補強工事を実施してまいります。

また、海田小学校のプール改修工事・南校舎窓改修工事・本館給排水設備更新工事を実施してまいります。

心豊かでたくましい青少年の育成

「心豊かでたくましい青少年の育成」につきましては、青少年がいきいきと活動し、次代を担う人材が育っていくよう、家庭や地域の教育力の向上に努めてまいります。

青少年支援団体の育成につきましては、青少年育成海田町民会議への支援を拡充するなど、人材・団体等の育成に取り組んでまいります。

地域の教育力の回復につきましては、地域の「おせっかい おじさん」「おせっかい おばさん」の発掘や育成と活動の場を提供してまいります。

青少年がいきいきと活動できる環境づくりについては、公民館でのジュニアサマースクールなど、文化やスポーツ活動の機会を提供してまいります。

読書活動の推進につきましては、乳児を対象とした、ブックスタート事業を実施し、幼児期には親子で図書館を利用していただけよう児童書の充実を図ります。さらに、子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けることができるよう、読書環境の整備に努めてまいります。

2 だれもが尊重され活躍するまちをつくろう

第2点目は、「だれもが尊重され活躍するまちをつくろう」でございます。

生涯学習の推進

「生涯学習の推進」につきましては、住民が生涯にわたって学び、心の豊かさが実感できるまちを築いていくため、生涯学習推進体制の充実や多彩な学習機会の確保、生涯学習関連施設の整備や充実に取り組んでまいります。

学習のニーズに対応した学習機会の確保・充実につきましては、多彩な講座の開設や学習成果を発揮できる場を提供するなど、「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる体制づくりに努めてまいります。

生涯学習関連施設の整備については、築40年を迎え老朽化している海田公民館の今後の方向性を検討するため、基本計画を策定いたします。

地域文化の継承と創造

「地域文化の継承と創造」につきましては、地域文化の再発見や継承、新たな文化の創造に向け、優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、住民自身による芸術文化を発表する場の提

供など文化活動を支援してまいります。

また、町内の文化財を活用し、郷土の歴史に対する住民の関心を高め、その継承に取り組んでまいります。

スポーツのまち・海田づくり

「スポーツのまち・海田づくり」につきましては、住民が生涯にわたってさまざまなスポーツに親しみ、スポーツを通して健康づくりや体力向上が図れる環境を整備してまいります。

また、学校等の身近な施設でスポーツ活動を行えるよう学校開放事業を行うとともに、住民の多様なニーズに対応するため、毎月第3日曜日の「家庭の日」において、「学校施設ふれあい事業」を継続してまいります。

スポーツ団体の育成では、町内の各スポーツ団体の、団体相互の交流や、技術の向上が図れるよう、引き続き、支援を行ってまいります。

織田幹雄氏のご子息より御寄附いただいた、織田氏ゆかりの貴重な品々を公民館等で巡回展示し、町内出身のトップアスリートの功績を町内外に紹介してまいります。

人権尊重と人間性豊かな人づくり

「人権尊重と人間性豊かな人づくり」につきましては、海田町人権教育・人権啓発指針に基づき、花の栽培を通して命の大切さを考える人権の花運動、啓発映画の上映などを行い、人権を守り、大切にしていける明るく住み良いまちづくりに取り組んでまいります。

男女共同参画社会の形成

「男女共同参画社会の形成」につきましては、「海田町男女共同参画基本計画」に基づき、性別に関係なく、互いの人権が尊重される社会の実現を目指し、理解と関心を深めるよう広報・啓発に努めるとともに、町の各種審議会等の委員への女性の登用にも努めてまいります。

また、「配偶者暴力相談窓口」を設置し、関係機関と連携をとり、被害者の支援に取り組んでまいります。

多文化共生社会の形成

「多文化共生社会の形成」につきましては、国籍にかかわらず、すべての人々が暮らしやすいまちの実現を目指し、海田町国際交流協会を支援するとともに連携を密にしながら、住民意識の啓発や交流の促進等を図り、外国人にとっても住みやすい環境づくりに努めてまいります。

3 健康で人にやさしい安心のまちをつくろう

第3点目は、「健康で人にやさしい安心のまちをつくろう」で
ございます。

健康づくりの推進

「健康づくりの推進」につきましては「第2次健康かいた21」
に基づき、健康寿命の延伸をめざして各種健康づくり事業を推進
し、住民の健康の増進を図ってまいります。

母子保健の充実につきましては、子どもの健やかな成長を支援
していくため、妊娠期から支援を開始し、生後4か月までの赤ち
ゃんへの全戸訪問、出産や育児に関する相談、健康教育などを行
い、母親の育児不安の軽減や虐待の早期発見に努めてまいります。

発達障がいの傾向にある子どもに対しては、個別相談や幼児発
達支援教室を実施するとともに、就学前にアンケート調査を行い、
就学に向けて適切な対応ができるよう取り組んでまいります。

また、町で独自に助成している不妊治療費及び不育症治療費助
成を引き続き行ってまいります。

生活習慣病対策につきましては、新たに健康づくりサポーター

を養成し、地域全体で健康への関心を高めていけるよう取り組んでまいります。

また、糖尿病予防教室、重症化予防教室、水中健康教室、健診結果説明会などを通して、適切な運動習慣や食習慣を身につけることができるよう支援をしてまいります。

ウォーキング大会につきましては、引き続き、安芸区と合同で地域一帯を盛りあげていくイベントとして実施してまいります。

また、「ワッショイ！かいた」の中で「健康・食育フェア」を実施することにより、住民の健康増進や健全な食生活の普及啓発に取り組んでまいります。

がん検診につきましては、「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」として、過去に女性がんの無料クーポン券の配布を受けたクーポン未利用者に対して、再度クーポン券を配布し、検診の重要性の認識と受診の動機付けの向上を図ってまいります。

また、特定の年齢の方に大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券を配布するとともに、乳がん検診の無料クーポン券の対象年齢の拡大を図り、受診率の向上を目指してまいります。

予防接種事業につきましては、定期予防接種を適正に実施するとともに、町が独自助成している成人用肺炎球菌ワクチン、おた

ふくかぜワクチン, 風しんワクチンの接種費用の助成を行ってまいります。また, 平成26年10月から開始となる水痘ワクチン, 成人用肺炎球菌ワクチン接種の定期接種化に向けて, 適正に事務を進めてまいります。

自殺予防対策につきましては, 支援が必要な方への個別対応や相談を実施するとともに, 自殺予防の啓発, うつや認知症の予防に効果があるとされる睡眠改善教室を引き続き実施してまいります。

歯科保健につきましては, 住民に身近ないきいきサロンなどへの出前教室を通して歯科指導を行うとともに, 妊婦や節目年齢の方への歯周疾患検診を実施し, 生涯を通じた歯の健康づくりを推進してまいります。

食育の推進につきましては, ヘルスメイト活動を地域の会館等で実施し, 住民の身近なところで食育の普及啓発に取り組んでまいります。

また, 新たに, 思春期世代への食育推進事業を開始し, 食を通して生涯にわたる健康づくりが実践できるよう, 学校, 家庭, 地域等と連携した食育推進体制の整備を図ってまいります。

豊かな高齢社会の形成

「豊かな高齢社会の形成」につきましては、「高齢者福祉計画」に基づき、高齢者の方々が、元気でいきいきとした生活を送れるよう、生きがいつくりや社会参加の促進、日常生活の支援を行ってまいります。

地域における高齢者への支援体制の充実につきましては、引き続き自治会が実施する高齢者の居場所づくりの支援を行ってまいります。

生きがいつくりと社会参加の促進につきましては、平成26年度に開設する海田町シルバープラザの管理を海田町シルバー人材センターが指定管理で行い、高齢者の労働能力の活用と、地域の高齢者の福祉の増進に取り組んでまいります。

また、シルバー人材センターや老人クラブに対しましては、引き続き、支援を行ってまいります。

福祉センターにつきましては、海田町社会福祉協議会が指定管理者となり、管理運営を行ってまいります。

障がい者福祉の推進

「障がい者福祉の推進」につきましては、「障がい者基本計画」に基づき、障がいの有無にかかわらず、すべての人が尊重し合い、支え合う、やすらぎのある地域社会の実現を目指して、総合的な支援に取り組んでまいります。

障がい福祉計画につきましては、現計画が平成26年度で満了することに伴い、次期計画の策定に取り組んでまいります。

平成26年度から権限移譲により特別児童扶養手当の認定等の事務と身体障害者手帳の認定・交付等の事務を町で実施いたします。

その他、引き続き、障がい者に対する相談支援体制の確保や各種手当の支給、医療費の助成に取り組んでまいります。

地域福祉の推進と総合的なサービスの提供

「地域福祉の推進と総合的なサービスの提供」につきましては、地域福祉計画に基づき、総合的な福祉サービスを、行政のみならず住民などとの協働により提供し、だれもが安心して充実した地域福祉づくりに取り組んでまいります。

地域福祉計画につきましては、現計画が平成26年度で満了することに伴い、次期計画の策定に取り組んでまいります。

協働で支えあう地域福祉づくりにつきましては、地域に密着して活動されている、社会福祉協議会や民生委員等と連携するとともに、その活動の支援を行ってまいります。

生活保護費給付事業につきましては、生活困窮者の不安解消や生活支援を図るとともに、必要に応じて就労の支援を行い、自立に向けた支援を行ってまいります。

また、就労意欲のある離職者のうち、就労の基盤となる住居を喪失するおそれのある方に対しては、住宅支援給付を行うとともに、就労への支援を行ってまいります。

交通安全対策の推進

「交通安全対策の推進」につきましては、交通事故のない安全なまちづくりを進めるため、引き続き、交通安全についての意識啓発を推進するとともに、海田町交通安全協会の活動の支援を行ってまいります。

また、交通安全施設の充実に努めてまいります。

防犯対策の推進

「防犯対策の推進」につきましては、犯罪を未然に防ぐため、「夜間防犯パトロール事業」を引き続き実施するとともに、防犯意識の普及・推進のため、各種活動を展開している海田町防犯組合連合会等の取り組みを支援してまいります。

消費者行政の推進

「消費者行政の推進」につきましては、悪質な勧誘や脅迫まがいの悪徳商法による被害防止のため、広報などによる情報提供や出前講座による啓発活動に努めるとともに、巧妙化する消費トラブルに対処するため、県生活センターとの連携を行います。

また、専門の相談員による相談窓口を開設し、住民の相談に対応してまいります。

4 環境にやさしく快適なまちをつくろう

第4点目は、「環境にやさしく快適なまちをつくろう」でございます。

地球温暖化対策の推進

「地球温暖化対策の推進」につきましては、公共施設へのみどりのカーテン設置を引き続き実施するとともに、海田町地球温暖化対策地域協議会と連携を図り、地域へのみどりのカーテンの普及を支援してまいります。

また、電気自動車につきましては、近距離用の公用車の外、屋外イベントでの外部電源として利用し、二酸化炭素排出軽減についてアピールを引き続き行ってまいります。同時に、ひまわりプラザに整備しております急速充電設備につきましても、利用の周知を図ることにより、電気自動車の普及に寄与してまいります。

環境保全と循環型社会の形成

「環境保全と循環型社会の形成」につきましては、持続可能な循環型社会の形成と快適な都市環境の保持，増進に向け，住民や事業者，関係団体等と連携を図り，ごみの減量化，再利用化，再資源化などの3R運動を推進し，ごみの適正な処理などに取り組んでまいります。

また，ごみ問題や環境問題に対する住民意識の向上につきましては，引き続き広報等による啓発を行い，循環型社会の実現に努めてまいります。

環境センター焼却施設の跡地につきましては，今後のごみ処理量の動向を踏まえ，利用計画を策定してまいります。

住宅・住環境の整備

「住宅・住環境の整備」につきましては，快適で暮らし安い生活環境を維持・増進させるため，第1蟹原住宅に駐車場を整備するとともに，全町営住宅に駐輪場を整備してまいります。

また，「町営住宅長寿命化計画」に基づき，第1蟹原住宅の給水管の改修を行ってまいります。

私道整備補助事業につきましては、生活環境の向上と交通安全を確保するため、一定の要件を満たす私道について、整備費用の一部を補助してまいります。

公園緑地の整備

「公園緑地の整備」につきましては、住民に親しまれ、利用される公園緑地を確保していくため、計画的な公園緑地の整備に取り組んでまいります。

海田総合公園につきましては、指定管理の契約が平成26年度で満了することから、次年度以降の指定管理について、検討してまいります。また、施設整備につきましては、駐車場のゲートの改修や、遊具広場への階段の設置を行ってまいります。

自然と文化が息づくうるおいのある環境づくり

「自然と文化が息づくうるおいのある環境づくり」につきましては、貴重な自然や文化財を守り、自然と歴史文化に親しむまちづくりに取り組んでまいります。

自然環境の保全と活用につきましては、引き続き、「ひろしま

の森づくり事業交付金」を活用し、日ノ浦山遊歩道のベンチ取替や案内板等の改修を行ってまいります。

文化財等の保存と活用につきましては、旧千葉家住宅を適切に管理するとともに、一般公開など歴史文化に関する活動を継続し、地域の歴史について、より理解を深めていただく機会を確保してまいります。

5 都市基盤を整え生かすまちをつくろう

第5点目は、「都市基盤を整え生かすまちをつくろう」でございます。

拠点づくりと計画的な土地利用の推進

「拠点づくりと計画的な土地利用の推進」につきましては、自然と都市空間が調和した都市構造の形成のため、地域拠点の整備や農地の保全に取り組んでまいります。

広島市東部地区連続立体交差事業につきましては、広島県及び広島市において事業の見直しの検討が進められておりますが、町といたしましては、引き続き、現計画での事業の実施を強く要望

してまいります。

海田市駅南口土地区画整理事業につきましては、建物等の移転を進めるほか、中店窪町線の整備や雨水幹線の整備などを行ってまいります。

農地の保全につきましては、イノシシ等による農作物被害の増加に対応するため、引き続き、国及び県の鳥獣被害防止総合対策交付金事業を活用し、駆除活動などに対する支援を行ってまいります。

災害に強いまちづくりの推進

「災害に強いまちづくりの推進」につきましては、平成25年度に改訂した「海田町地域防災計画」に基づき、安全な避難施設の確保や、消防の充実・強化を図るとともに、住民の協力と参加のもとに、地域ぐるみでの防災体制づくりに取り組んでまいります。

防災体制の充実につきましては、避難施設や浸水想定などの情報の周知を行うとともに、避難施設、備蓄品などの拡充を行ってまいります。

防災情報伝達体制の充実につきましては、全国瞬時警報システ

ムによる緊急情報や防災行政無線による災害情報など、各種情報の確実な伝達に努めてまいります。

また、防災行政ラジオの有償配布も、引き続き行ってまいります。

災害時に援護を必要とされる方々につきましては、安全、確実に避難することができるよう、災害時要援護者支援体制の確立に努めてまいります。

常備消防につきましては、広島市消防局との連携を図りながら、火災、災害対応力の充実強化を進めてまいります。

非常備消防につきましては、国信消防庫を移転、拡充し、消防団の活動拠点の一つとして整備するとともに、装備品や資機材の充実を行ってまいります。

災害に強い都市構造の形成につきましては、引き続き、東二丁目地内の東桜木川の修繕を行ってまいります。

また、林道や急傾斜地の適正な管理に努めてまいります。

住宅の耐震化につきましては、木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事に係る費用の一部を助成し、住宅の耐震化を促進してまいります。

交通網の整備

「交通網の整備」につきましては、住民生活と都市活動を支える交通網の整備に取り組んでまいります。

都市計画道路の整備につきましては、中店小学校線の用地買収を引き続き進めてまいります。また、新開蟹原線のすでに行っている部分の道路改良工事を実施してまいります。

生活道路の整備につきましては、畝二丁目地内の町道2号線歩道改修工事、三迫三丁目地内の町道313号線整備工事を進めてまいります。

また、町道2号線瀬野川西踏切整備事業、町道6号線バイパス整備事業については、物件等調査を行ってまいります。

道路の修繕につきましては、中店地内の町道17号線、月見町地内の町道231号線、昭和町地内の町道1号線、堀川町地内の町道10号線、蟹原二丁目地内の町道6号線、東二丁目地内の町道124号線などの修繕工事を実施してまいります。

橋りょうの維持管理につきましては、町内橋りょうの点検や瀬野川に架かる橋りょうの耐震補強調査を行い、計画的に橋りょう修繕を行ってまいります。

町内循環コミュニティバスにつきましては、広報などで普及啓

発に努めながら，運行を継続してまいります。

6 産業と働く人が元気なまちをつくろう

第6点目は，「産業と働く人が元気なまちをつくろう」でござ
います。

雇用の場の確保

「雇用の場の確保」につきましては，雇用の安定と雇用の場の
創出・拡大を図るため，関係機関と連携し，さまざまな情報の提
供に努めてまいります。

工業・商業の振興

「工業・商業の振興」につきましては，町内の商工業の持続的
発展を図るため，広島安芸商工会を支援するとともに，連携を密
にしながら，商工業者の育成及び経営安定・向上に努めてまいり
ます。

また，引き続き金融機関に中小企業への融資用資金を預託し，

設備の更新や充実に必要な資金供給の円滑化に努めてまいります。

7 参加と連携でまちづくりの推進力をつくろう

第7点目は、「参加と連携でまちづくりの推進力をつくろう」でございます。

地域活動と協働のまちづくりの推進

「地域活動と協働のまちづくりの推進」につきましては、さまざまな団体が主体性と自主性を持ち、対等な立場で協力し、活動していくため、必要な研修を実施するとともに、活動の場所の提供や情報発信の支援等を行ってまいります。

また、瀬野川の魅力の一つである野鳥について、地域住民の皆様との協力を得ながら、案内看板の作成に取り組んでまいります。

自治会活動への支援につきましては、海田町自治会連合会の支援を行い、地域づくりの基礎となる自治会活動の活性化を図ってまいります。

広報広聴活動につきましては、町の広報紙やホームページ、議会中継などにより、積極的に行政情報を提供するとともに、住民の皆様の生の声を町政に反映させるため、引き続きぶらり訪問やタウンミーティングを実施してまいります。

交流と定住・居住の促進

「交流と定住・居住の促進」につきましては、「住んでみたい」「住んでよかった」「住み続けたい」と思っていただけのように、魅力あるまちづくりに取り組むとともに、生活情報や住宅情報などさまざまな情報を提供してまいります。

また、交流・定住施策について、本町にあった施策について引き続き、調査・研究を行ってまいります。

地方分権に対応した 基礎自治体としての基盤整備と広域的な連携

「地方分権に対応した基礎自治体としての基盤整備と広域的な連携」につきましては、地方自治を取り巻く状況に的確に対応しながら、住民サービスを提供し、都市像の実現を目指してい

くため、基礎自治体としての基盤強化を図るとともに、関係市町等との交流・連携を進めてまいります。

関係市町等との連携・交流につきましては、広域的な課題などの解決に向けて、関係市町との交流を深めるとともに、国や県など関係機関との連携の強化を図ってまいります。

組織の見直しにつきましては、高齢者福祉に関する事務を社会福祉課から長寿保険課に集約するとともに、水道課と下水道課を統合することにより、窓口の一本化による利便性の向上や、事務執行の効率化に努めてまいります。

庁舎の整備につきましては、3階大会議室と応接室に個別冷暖房設備を設置し、執務能率の向上を図るとともに、適切な庁舎環境の維持に努めてまいります。

町税等の収納対策につきましては、新たな滞納を発生させないよう、納税相談や臨戸徴収を継続的に実施するとともに、文書や電話による催告を行い、払い忘れの方に対する、注意喚起を行ってまいります。

納付方法につきましては、引き続き、コンビニ納付、口座振替納付の推奨などを通して、納税者の利便性と収納率の向上に努めてまいります。

その他、平成27年度から導入が予定されている社会保障・税

番号制度に向けて、システムの改修に着手してまいります。

また、引き続き、海田東公民館での証明書の発行や、毎月第2土曜日の役場住民課の窓口の開設を行うなど、今後とも、より一層の行政サービスの充実に努めてまいります。

8 特別会計

第8点目は、「特別会計」でございます。

公共下水道事業特別会計

「公共下水道事業特別会計」につきましては、雨水施設及び汚水施設の整備を引き続き進めてまいります。

雨水施設につきましては、曾田・国信一丁目・寺迫二丁目地区の浸水解消を図るため、竹貞第1ポンプ場流入渠の整備を行います。

汚水施設につきましては、海田東第1処理分区の東二丁目、三迫二丁目、三迫三丁目地区及び海田中央第6処理分区の三迫二丁目地区の幹線と面整備を進めてまいります。

これにより整備面積は、約466ヘクタール、処理人口は、

約27,770人となり、全体面積の76.1%が整備され、人口普及率は96.3%になる予定で、本町における公共下水道の整備は、おおむね完成となります。

国民健康保険特別会計

「国民健康保険特別会計」につきましては、医療費の増加などを要因として財源の不足が見込まれるため、収支不足補てん分の一般会計繰入金を計上することといたしました。

今後とも、安定した保険税収の確保のため、引き続き、口座振替納付やコンビニ納付の促進を図るとともに、納税相談や電話による催告、臨戸徴収を継続的に実施するなど、なお一層の収納率向上に努めてまいります。

また、引き続き、医療費の適正化を推進するため、保健師による頻回受診者等への訪問指導やジェネリック医薬品の利用促進に努めてまいります。

次に、住民の健康の保持・増進を図るため、引き続き、生活習慣病対策として、特定健康診査の受診率向上や保健指導の効果的な実施に努めてまいります。また、栄養指導や運動教室などの「健康づくり事業」を引き続き実施してまいります。

介護保険特別会計

「介護保険特別会計」につきましては、第5期介護保険事業計画に基づき、高齢者の皆様が、住みなれた地域でいつまでも安心して暮らすことができるよう、訪問による介護相談事業や、見守りネットワーク事業の充実を図るとともに、認知症に関する正しい知識の普及啓発や、認知症予防対策に努めてまいります。

介護保険事業計画につきましては、現計画が平成26年度で満了することに伴い、次期計画の策定に取り組んでまいります。

また、要介護認定の適正化や介護報酬請求の適正化を図るとともに、介護保険料の賦課徴収事務を適切に実施し、健全な保険財政の運営に努めてまいります。

後期高齢者医療特別会計

「後期高齢者医療特別会計」につきましては、高齢者の皆様が安心して医療を受けることができるよう、運営主体である広島県後期高齢者医療広域連合と連携し、適正な制度の運営に努めてまいります。

水道事業会計

「水道事業会計」につきましては、安全でおいしい水を安定的に供給するため、水道施設の更新や長寿命化を図るとともに、災害対策の推進に努めてまいります。

水道管につきましては、更新時期を迎えた配水管を、順次耐震管に更新してまいります。

石原配水池につきましては、引き続き、耐震改修を行ってまいります。

また、他の水道施設につきましても、計画的に整備を行うため、更新計画の策定を行ってまいります。

ペットボトルの「海田の水」につきましては、誰でも購入できるよう町内で販売しておりますが、引き続き、海田町の水道水のおいしさをPRしてまいります。

なお、地方公営企業会計の見直しが行なわれたことに伴い、平成26年度予算から新会計制度に対応した予算編成となっております。

以上、それぞれの会計における、その概要をご説明申し上げましたが、これらの諸施策、諸事業を推進するために、職員を督励

し、効率的な行財政運営に努め、町政発展に邁進する所存でございます。